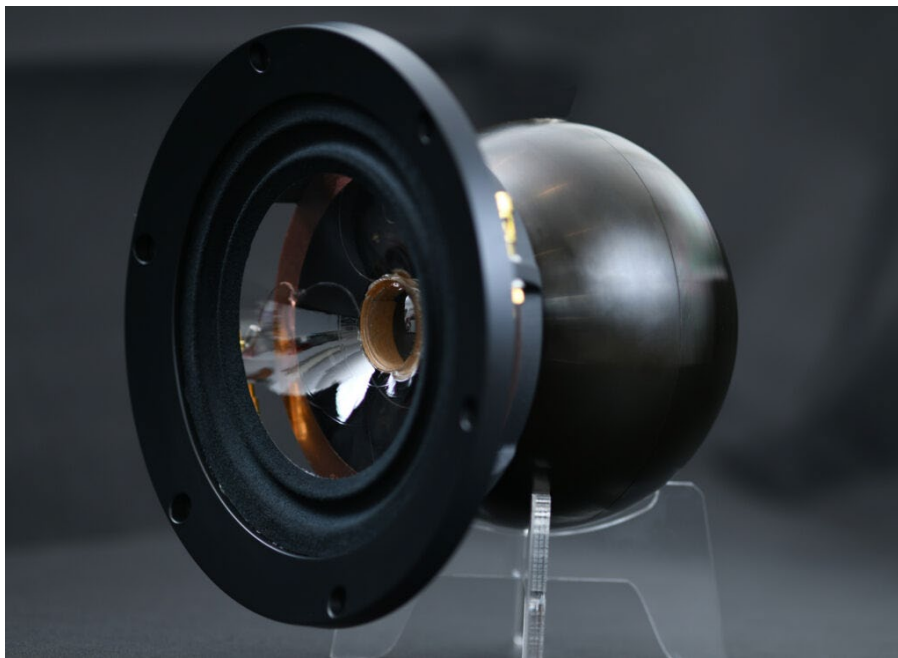


フルレンジスピーカーユニットブランド Feastrex が Sonarion™振動板を採用

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市、社長：岸本暁、以下 NEG）は、当社の超薄板ガラス「Sonarion™」を用いたスピーカー振動板が、フルレンジスピーカーユニットブランド「Feastrex（フィーストレックス）」に採用されました。

Sonarion™振動板は複数の音響ブランドで採用が進んでおり、オーディオ分野での活用事例が広がっています。



Sonarion™振動板を用いたスピーカーユニット

■Feastrex（フィーストレックス）とは

Feastrex は、音楽の感動を忠実に再現するために生まれた、日本のハイエンドスピーカーユニットブランドです。スペック競争を追うのではなく、作曲者の意図や演奏者の情念、さらには会場の空気感まで再現することを重視しています。

技術面では、低磁気歪みを実現する励磁式の球形磁気回路、高剛性コーン、ワイヤーサスペンションを採用し、にごりがちな低域や荒れやすい中高域を、丁寧で自然な音色として再現することを目指しています。その結果、まるでその場にいるかのような高い没入感を楽しめます。

また、すべての製品を完全受注生産としており、手作業による組み立てと試聴による調整を経

て提供しています。その妥協のない音づくりは、世界中のオーディオ愛好家から支持を集めています。

■ Sonarion™振動板について

NEG は、Sonarion™を用いたガラス振動板を、ガラスの精密 3D 加工技術を有する台湾の GAIT (Glass Acoustic Innovations Co., Ltd.) と共同開発しました。専用に開発したガラスに立体成形と特殊な化学強化処理を施すことで、音響素材として求められる特性を実現しています。

【特長】

- ・紙や金属といった素材に比べて音の立ち上がり、立ち下がり※が速いため、音が鮮明かつクリアに届き、歪みが少ない
- ・素材の特性として振動の内部損失が大きく、素材の固有音が少ない
- ・軽くて振動しやすく繊細な音のニュアンスを正確に表現できる
- ・ガラス表面を特殊な化学処理で強化しており、重低音の激しい振動にも耐える
- ・温度や湿度などの環境変化に強く、経年劣化しにくい



Sonarion™を用いた振動板

※「音の立ち上がり」とは、音が鳴り始めてからピークに達するまでの時間や反応の速さを指します。立ち上がりが速いと、音の輪郭がはっきりし、打楽器や弦楽器のアタック音が鮮明に再現されます。一方、「音の立ち下がり」とは、音が鳴り終わったあとにどれだけ速やかに音が消えるかを表します。立ち下がりが速いと、音が不要に残らず、次の音がクリアに聴こえるため、全体として歪みの少ない、引き締まった音になります。

【当社ホームページ 関連記事】

- ・ [次世代高音質スピーカーのカギは、超薄板ガラス振動板にあり](#)
- ・ [世界的スピーカーユニットメーカーSEASが、「超薄板ガラス」振動板を採用](#)
- ・ [スピーカー振動板専用の超薄板ガラスを「Sonarion \(ソナリオン\)」と命名](#)

■GAIT (Glass Acoustic Innovations Co., Ltd.) について

GAIT は、ガラス振動板の 3D 加工技術を世界で初めて実現し、超薄板ガラスを精密に 3D 加工できる世界唯一のガラス加工メーカーです。2020 年創業のスタートアップ企業で、台湾・台北に本社を構えています。2024 年 4 月に NEG と戦略的パートナーシップを締結し、オーディオ業界における Sonarion™振動板の開発・製造・市場展開を共同で推進しています。

【会社概要】

日本電気硝子株式会社は、滋賀県大津市に本社を置く、世界トップクラスの特種ガラスメーカーです。新たな機能を生み出す特殊ガラスは、板や管、糸、粉末などさまざまな製品に姿を変え、半導体やディスプレイ、自動車、電子機器、医療、エネルギーなど多岐にわたる分野で活躍しています。当社が 70 年以上の歴史の中で磨き上げてきた技術と実績により開発された特殊ガラスは、暮らしのあたりまえから産業の最先端まで、幅広い分野で高い評価を受けています。

会社名 : 日本電気硝子株式会社
代表者 : 社長 岸本 暁
本社所在地 : 滋賀県大津市晴嵐二丁目 7 番 1 号
創立 : 1949 年 12 月 1 日
事業内容 : 特殊ガラス製品の製造・販売およびガラス製造機械の製作・販売
URL : <https://www.neg.co.jp/>

以 上

日本電気硝子株式会社 〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐二丁目 7 番 1 号

《リリース内容に関するお問い合わせ》

コーポレートコミュニケーション部 広報担当 電話 : 077-537-1702 (ダイヤルイン)

《製品に関するお問い合わせ》

[お問い合わせフォーム](#) へご連絡ください